

## 2 リーピングウインチ用ガイドシーブ

## ▲ 注 意

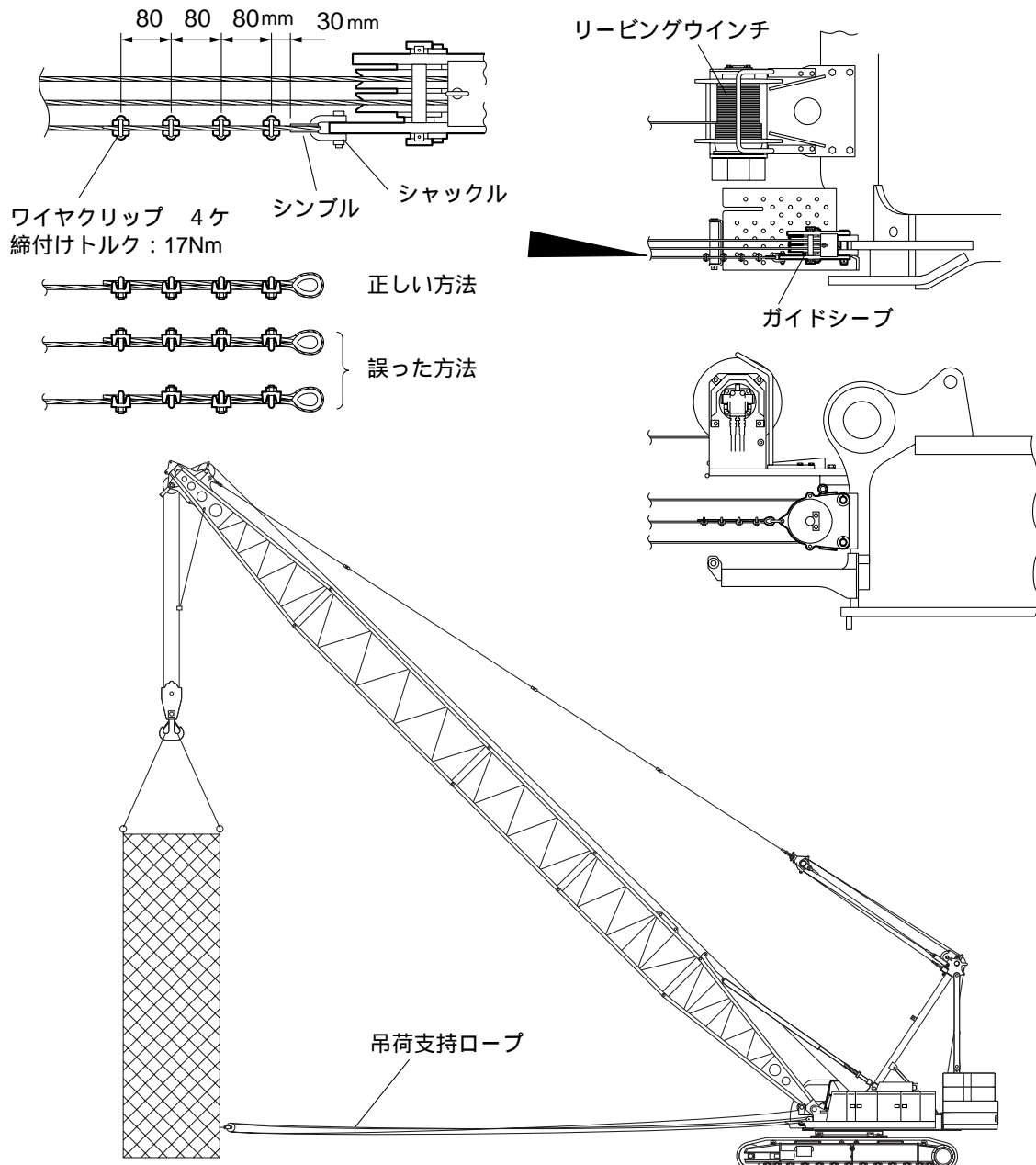
- ・リーピングウインチは物を吊上げる用途には使用できません。
- ・ロープ張力が無い状態で巻取りを行うと乱巻きになります。
- ・エンジン回転数でロープスピードが変化します。操作はアイドルで行ってください。
- ・吊荷支持ロープに衝撃を掛けないでください。油圧モータやロープ等が破損します。

本機は吊荷支持ロープの繰り出し装置にリーピングウインチを使用できます。

上部フレーム前部に取付けたガイドシーブを使用し、吊り荷との間に6本掛けまで掛け回しができます。操作は運転室の操作パネルスイッチにより行います。

使用ロープ： 8 / IWRC6X WS(26) / 250m 部品番号：EDC0147

注：6章のワイヤロープ点検の項を参考に毎日点検してください。



### 3 起伏支持ロープの取付け

本機には吊荷が作業半径を超えて振出さないように作業半径を決まった位置で停止する補助ロープを取付けできます。

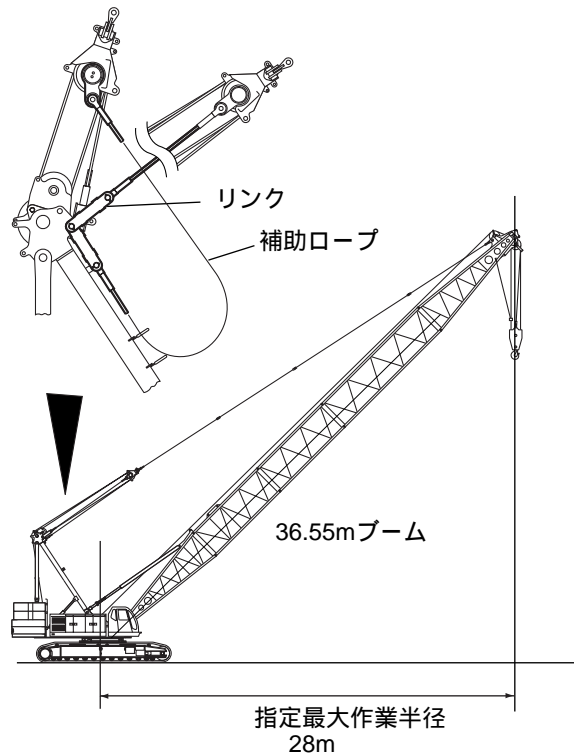
#### 警告

起伏ロープが損傷により切断した場合は衝撃により補助ロープが破損しブームが落下したり、機械が転倒することがあります。起伏ロープは「ロープの点検」の項を参照し、常に点検してください。

#### 使用条件

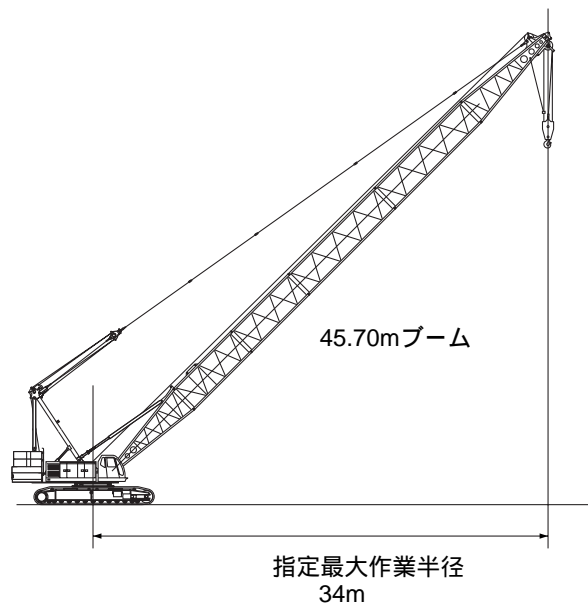
補助ロープの使用は下記の条件でのみ使用できます。

ブーム長さ	指定最大作業半径
36.55m	28m
45.70m	34m



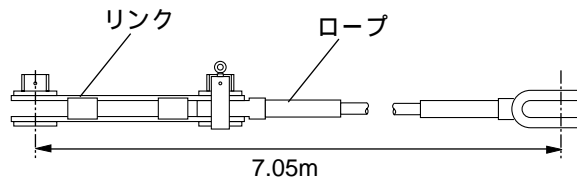
#### 注意

- ・リンクと補助ロープは指定作業範囲以外で使用する場合は取外してください。
- ・補助ロープ付きの作業では、補助ロープがブーム起伏ロープの代わりに荷重を受け持つと過負荷防止装置が正常に働かなくなります。起伏の下げ操作は指定最大作業半径以内で行ってください。（過負荷防止装置には作業半径制限機能があります。過負荷防止装置の取扱説明書を参考に設定してください。）
- ・補助ロープ付きで、掘削作業および、掘削モードでの作業は行わないでください。
- ・起伏ロープが弛んだ状態で補助ロープにてブームを保持した状態ではクレーンとして使用することはできません。



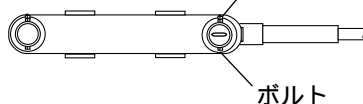
## 補助ロープの取付け

1) ブームおよび支持ロープを指定の長さに組立てます。



2) 補助ロープを組立てます。

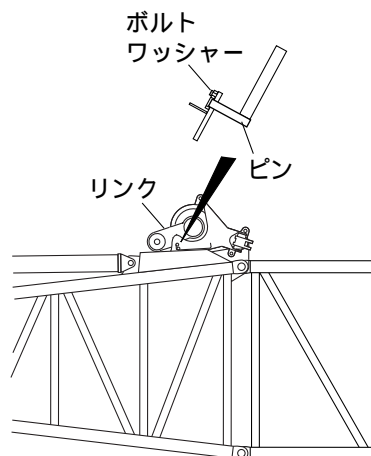
締付けトルク (上下共)  
M12:60 ~ 64N · m (6.1 ~ 6.6kgf · m)  
二重ナット



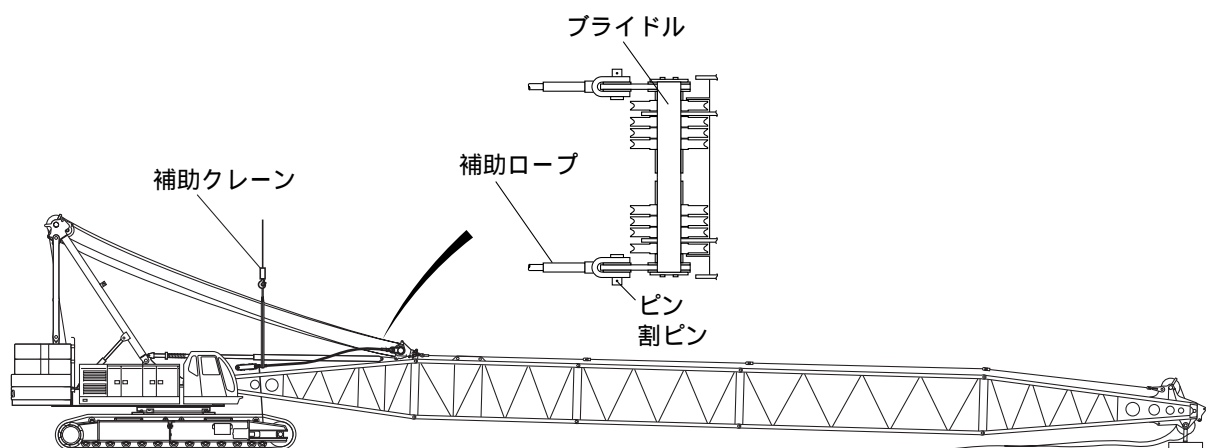
3) ブライドルリンクのサポートピンを除外します。

**重要**

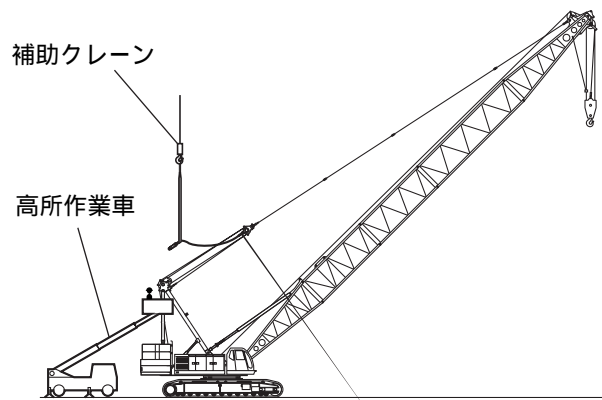
サポートピンは、分解、組立て時のみ使用し、クレーン作業時および輸送時は除外してください。



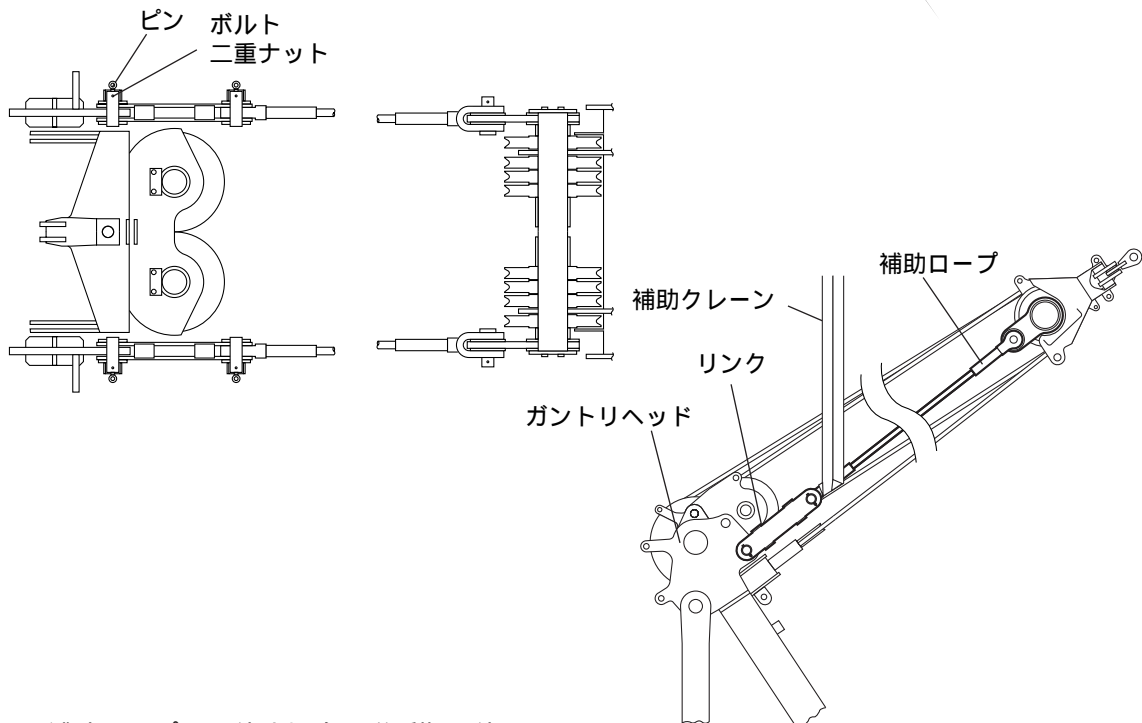
4) ブライドルに補助ロープを取付けます。



- 5) 補助ロープの金具部分を補助クレーンで支持しながらブームを引き起こします。

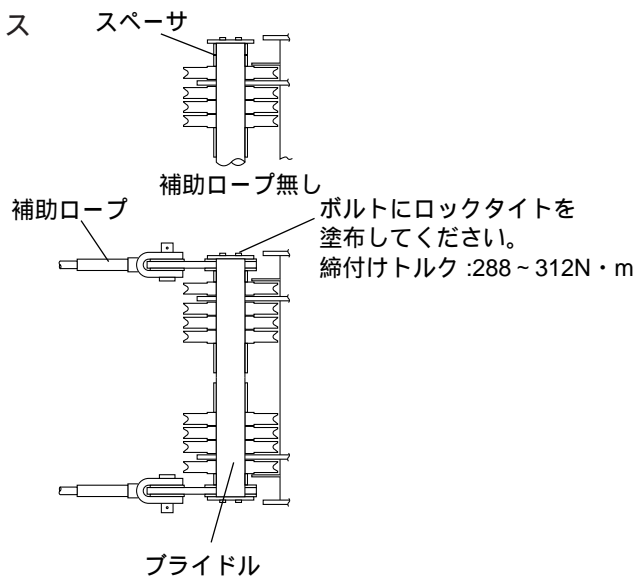


- 6) 高所作業車を使用し、補助ロープのリンク部分をガントリヘッドと接続する。



- 7) 補助ロープを取外す場合は逆手順で外します。

- 補助ロープを外した時はブライドルにスペーサを取付けてください。



8) 過負荷防止装置のカーブ選択を行います。

- ・補助ロープ付きの作業では、過負荷防止装置のカーブ選択を「ヘビートップクレーン（ブライドル固定）」を選択してください。カーブの選択は別冊の「SML-10」取扱い説明書の操作方法の項を参照してください。

カーブ番号ラベル

カーブNo.

- 1:ヘビートップクレーン（ハンガ付）
- 2:ヘビートップクレーン（ハンガ無）
- 3:ライトトップクレーン（ハンガ付）
- 4:タワー
- 5:ヘビートップクレーン（ブライドル固定）

LMI-545

9) 過負荷防止装置のアタッチメント自重補正を行います。

- ・アタッチメント自重補正は、別冊の「SML-10」取扱い説明書の自重補正の項を参照してください。

**重要**

自重補正を行っても表示重量がずれている場合は作業を中止し、弊社サービス工場に連絡し、調整を受けてください。